

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社シーケイ・テック(代表者名:森山利夫、以下「当社」という)は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「同機構」という)が発行するソーシャルボンド(第71回日本学生支援債券、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるムーディーズ・ジャパンからセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽²⁾の内、目標4「全ての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は、これまで一貫して中国地方の社会基盤(インフラストラクチャー)の整備・更新・維持管理の推進を担う事業主体に対して、知識と経験に裏打ちされた技術的支援を行い、中国地方の発展に貢献してきました。一層高いレベルで実施するために社内では多様なキャリア開発・成長支援を実施してきましたが、今後の社会を担うより多くの学生の支援を目的として、このたびの投資に至りました。当社は、本債券を始めとしたESG投資を継続することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘柄	第71回日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和5年6月7日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと